

馬場ひでゆきの活動日誌

No.73

8月19日、板倉コミュニティプラザで、上越市創造行政研究所の藤山浩所長の講演会がありました。演題は「持続可能な板倉区の創り方」、講演の要旨を報告します。

●板倉区の現状分析

板倉区の人口は5775人、高齢化率は40・4%（75歳以上22・9%）。

主力世代は70代前半。ただし、農業の平均引退年齢は76・7歳、草刈り機が使えなくなる年齢だ。ケガも増えて引退を決意する。将来世代にバトンを繋げるかどうか、これから5年が勝負だ。20〜30代前半の世代の流出超過が顕著だ。4歳以下の減少も急激だ。

●定住者を1%増やす。

現状のまま推移すると、人口はこれから30年後に半減する。人口の安定化を図るために、毎



板倉の皆さんがフロアいっぱいになりました。

年、定住人口の1%の増加を目標にして定住者を呼び込む。

具体的には、20代前半男女1組を8組、30代子連れ夫婦（3名）を8組、60代定年帰郷夫婦（2名）を8組、合計24組56人の定住を目指す。

●移住者の所得をどのように生み出す??

毎年、地域人口の1%が新たに定住するためには、地域全体の所得を1%増やせばいいことになる。その分、地域で回る金を増やす必要がある。

自治体は、これまで大工場誘致、観光客誘致、特産品開発といった「外貨獲得」に重きを置いてきた。しかし、効果は思ったように上がらない。

地方都市を分析すると、住民の総年間所得額に匹敵する金額を地域外からモノやサービスを購入することで地域外にお金を流出させている。そうだとしたら、地域外から購入していた金額のせめて1%のモノやサービスを地域内で調達すればいい。これなら三振はないし、どんな地域でもチャレンジができる。

●板倉区の可能性

板倉区は土地が広大で、自然が豊かな地域だ。再生可能エネルギーの地産地消が可能だ。米を中心とした農産物の生産も盛んだ。他から人を呼び込める十分な自給力がある。

上越市内での地区別到達者度



板倉には豊かな自然が広がっています。

藤山さんのお話を聞いて

地域外に出る金の一部を地域内にとどめるという発想は、ユニークでした。たしかに観光などで外貨を稼ぐよりも、リスクが少ないと思います。

課題は、地域の現状を分析して、地域内でどのような仕事ができるのかということを具体的に考えることでしょうか。地域の自治力も試されます。

板倉区では、今後も定期的にワークショップを開催して議論を深めていくそうです。今後の展開が楽しみです。

で、板倉区は男女総合で2番目（1位は谷浜・桑取区）になっている。元気な高齢者が多い。人口が減って困っていることを理由に定住を呼びかけてもダメ。板倉の良さを積極的にアピールするべきだ。

●藤山浩さん。昭和34年島根県益田市生まれ。平成25〜29年島根県中山間地域研究センター研究統括監、29年に「一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所」設立し所長に就任、令和5年4月からは「上越市創造行政研究所」所長就任（兼務）。

藤山浩さんのお話



1%戦略で

持続可能な板倉区の創り方〜人口&地区診断を基に〜

8/27

おしゃべり会 in 仲町

仲町通りにあるカフェ（喫茶店）でおしゃべり会を開きました。店の御主人にお声掛けいただき、店の常連さんなど8名が集まってくれました。

●今回の話題は、「上越市の水不足」でした。

①上越市の水が城山、正善寺という主に二つの大きな浄水場から供給されていた。

②4月6日に城山に水を送っていた水管が破断して城山が配水停止、正善寺ダムの水を春先から目いっぱい使用してきたが、6月からの水不足でダムの水も枯渇して、水不足が生じた。

③上越市が、井戸から取水したり、仮設の水路で後谷ダムからの水を取り込んで、何とか断水を回避している。

④安心するためには、城山浄水場の配水機能が回復する必要があるが、本格的工事の目途はまだ立っていない。

●こんな流れで、スライドを利用してお話しました。

びっくりしたのは、正善寺ダムの水が足りなくなっているのは知っていたけれど、城山浄水場のことは何も知らなかった、という方が多かったことでした。

これは、市やマスコミが、日々情報を流してはいるけれど、それを関連づけたら深く掘り下げ

て住民に伝えていないからだと思われます。

●私が話を始める前から「市長が県議引き連れて県に要請に行かなきゃね」とかおしゃべりが始まりました。話の途中でも、参加者から意見が出たり質問があったり、その度に私や他の参加者が応えたりで、本当の「おしゃべり」ができました。これからいろいろなところにおじゃましますね。



参加者の一人は、お店に野菜を納める農家の方。納品のために立ち寄ったところ、「おもしろそうだ」と言って、そのまま参加して最後まで私の話を聞いてくれました。嬉しかったです。

8月16日～8月29日

●8月17日「ふるさと高士まつり」（高士小学校）

●17日「棚田のきらめき」（牧区泉の棚田）

今年で6回目。8ヘクタールの棚田に2000個のライトが設置され、夕方からライトが棚田を照らし、幻想的な風景が広がります。この日は、キッチン

カーが出たり、地元産の農産物の直売もあり、たくさんの方々が訪れていました。

●18日 菅原神社例大祭天神祭り（清里区・菅原神社）

●19日 三和区国道整備促進・桑曾根川・錦川改修促進期成同盟会要望会（三和区・割烹いいだ）

●19日 藤山浩さん講演会（板倉コミュニティプラザ）

●23日 上野公悦市議後援会「焼き肉と生ビールの集い」（頸城区・上野宅）10年前から声かけていただき参加しています。今年も皆さんとお酒を酌み交わし、楽しいひと時でした



上野公悦議員の後援会の皆さん、ありがとうございます。また、来年も会いましょう！

●24日 かみえちご山里ファン倶楽部「棚田学校」ではさ作り（中ノ俣・角間（かくま）の棚田）

●27日 おしゃべり会 in 仲町

●28日 県道青柳高田線改修期成同盟会定期総会（清里コミュニティプラザ）

お知らせ

本町商店街にある18店舗で、先日行われた「上越美術協会展」の出品作をお借りして、展示しています。当事務所では三浦和子さんの『盛夏』を展示しています。素敵な夏の風景を是非ご覧ください。お待ちしております。

展示期間は9月1日～9月30日

発行責任者：馬場ひでゆき事務所

住所 新潟県上越市本町3丁目3番3号

ダイアパレス高田式番館2階

電話 025-546-7110

ファックス 025-546-7666

メール kengi-babahideyuki@wind.ocn.ne.jp